



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941
発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)

2023年1月20日
第745号



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

JR東労組 「第49回定期 中央委員会」

2023年2月7日(火) 10:30 ~
コルソホール(浦和)

23春闘の中間総括地点として、

- ・定中までに年末手当の見解を読み合わせ、経営姿勢をどう思うか議論しよう!
- ・定中以降は23春闘への声明などを発出し、組合員・未加入者との議論を行おう!



2023 JR総連春闘スタート!

「スローガン」
物価上昇と組合員の生活実態に基づく賃上げ要求獲得! 統一要求・統一闘争で2023JR総連春闘を勝利しよう!
組合員の声を要求に高め「安全・健康・ゆとり」を実現するために職場からたたかい抜こう!

■2022年度年末手当を振り返って
私たちがこの間、ヘアゼロや21春闘での定期昇給カット、期末手当の低額回答など、赤字・コロナ禍の中で相当な我慢を強いられてきました。一方、今年度はコロナによる行動制限が緩和され、明るい兆しが見え始めた中、赤字からの脱却を図るために過去最高の働き度で業務を担って来ました。その結果、第2四半期決算でついに黒字転換を果たし、年末手当への期待は大きく高まりました。

それにも関わらず年末手当の回答は2・4ヶ月+2万円であり、黒字転換の努力に対してあまりに低額なものでした。職場では怒りの声が噴出し、組合員・未加入者からの6000件に及ぶ怒りの本音に基づき「再申し入れ」を行い団体交渉をつくり出しましたが、回答を覆せず、苦渋の判断で受給しました。物価上昇に苦しむ中でも奮闘してきた努力に報いず、「出せぬものも出さない」という経営姿勢では、23春闘でも要求とかげ離れた回答が行われかねません。

「会社」に付度する社友会ではなく「本音を訴えるJR東労組」への組織拡大が必要だ! 年末手当の再申し入れ交渉で、会社は「我々に届いている具体的な声としては、夏を超えて、2・3ヶ月を超えてよかったです。思っていたよりも良かった。少なくとも2・4ヶ月+2万円というところで予想以上だった」と、前向きな意見がある」と回答しています。一方、各支社の社友会の一部幹部は、会社に対して「夏と同様またはそれ以上」「夏(2・3ヶ月)を超える回答」など、まるで統一して会社に付度するかのような声を伝えていることが分かりました。これが社内世論として、会社の低額回答の根拠になったのではないのでしょうか。



JR東日本の経営状況

今年度は黒字転換を果たしたことに加え、鉄道営業収入は2018年度比で約80%と順調な回復を見せています。また、内部留保が含まれる「所有する賃貸等不動産の時価」は2.4兆円もあり、支払い能力は充分です。

物価上昇

赤字・コロナ禍による年収減少に加え、物価や光熱費の上昇によって生活の苦しさが増しています。食品では2022年は2万822品目が平均14%値上げ、2023年も4425品目の値上げが予定されており、物価上昇も加味した賃上げが必要です。

JR東日本の離職率

離職者数は2018年度は267名、2021年度は約597名となり、たった3年で若年退職が倍増する異常事態です。「未加入者アンケート」では60%が転職を考えたことがあると回答しています。会社は自己都合で離職した人を対象とした再雇用制度「ウェルカムバック採用」を設けるとしていますが、そもそも離職をしなくて済む労働条件と社風を整えるのが本筋です。

JR東日本の経営姿勢

1月5日の経済三団体の新年祝賀会で、マスコミが11社の企業トップに賃上げの考えを聞いたところ、各企業が賃上げを「します」「前向き」と回答している中、JR東日本だけが「慎重」と答えました。これこそが経営の本音であり、低賃金で思い通りに働く労働者をつくるためにいつの時代も労働組合の力を弱めようとしていることを踏まえる必要があります。

政治と経団連の動き

岸田首相は物価高騰に見合った賃上げの実現に期待を示したものの、防衛費増額の財源のために法人税増税を掲げたことから、賃上げの機運に水を差しました。

一方、経団連の十倉会長は「物価上昇分のカバーを目指す」と述べていますが、そもそも経団連は経営者の団体であり、労働者の目指す生活重視の賃上げと、資本の目指す利潤重視の賃上げとで考え方に差があることを踏まえる必要があります。経団連の副会長にはJR東日本の富田会長が就いていることから、毎年の春闘時期に発出される「経労委報告」や、会長・社長が発出する「社員の皆さんへ」などには経団連の意思が反映され、社内世論づくりに活かされると想定する必要があります。



年末手当の総括をバネに、23春闘勝利を目指し JR東労組への結集を呼びかけよう!

2015年まで高速道路の有料期間を延長することも同時に報道された▼2015年というところは先のように感じるが、それと同じで、私たちは今の人々だけではなく、子どもや孫、その先の未来まで安心して暮らせる世の中をつくらなければならない。処理水の影響については不明な点も多い中、私たちはどうするのか、仲間と一緒に考え行動したい▼その先に、あの地球のマスケットがピースとして笑うように、戦争のない平和で安心して暮らせる世界が広がることを信じて進みたい。

(K・S)



先月旅行に行った際に偶然、茨城県東海村の原発の横を通った▼

遠くからは原子炉建屋が見えたが、車で近づくにつれ、建屋周辺は木々が生い茂り、見えなくなっていた。その周りには有刺鉄線があり、警備員もいて物々しい雰囲気であったが、正面入口を過ぎると地球をモチーフにしたマスケットが笑ってピースして建っており、警備の物々しさとは真逆の雰囲気だ、そこだけ漂っていた▼政府は今春、夏頃を目途にALPS処理水を海洋放出すると発表し、また、2015年まで高速道路の有料期間を延長することも同時に報道された▼2015年というところは先のように感じるが、それと同じで、私たちは今の人々だけではなく、子どもや孫、その先の未来まで安心して暮らせる世の中をつくらなければならない。処理水の影響については不明な点も多い中、私たちはどうするのか、仲間と一緒に考え行動したい▼その先に、あの地球のマスケットがピースとして笑うように、戦争のない平和で安心して暮らせる世界が広がることを信じて進みたい。